

満員

クラウドサービスの移行計画、運用計画の作り方（4119062）

クラウドサービス（主にパブリックIaaS）は迅速性や拡張性など便利な特性がある半面、既定のサービスということで様々な制約があります。本セミナーでは、クラウドサービスへの移行計画と運用管理に焦点を当てます。どのように移行計画を立てて実行していくのか、移行した後はどんな点に注意して運用していくのか、検討していきます。

開催日時	2019年7月22日(月) 10:00-17:00
カテゴリー	IS導入（構築）・IS保守 専門スキル
講師	澤橋松王 氏 （日本オラクル株式会社 Product Management, OCI Japan Vice President） チーフアーキテクトとして数々のクラウドプロジェクトのRFP作成を支援。IBMのクラウドサービス立ち上げを推進。 2024年9月より現職。 日本情報システム・ユーザー協会 非常勤講師 個人事業主（作家） 主な資格： TOGAF9、The Open Group Distinguished IT Architect
参加費	J U A S 会員/ITC：33,000円 一般：42,000円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み） 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	IaaSクラウドサービス利用を検討しているユーザー企業のご担当者 中級
開催形式	講義、演習
定員	24名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

第1部 クラウドサービスの特性を知る

- ・優れている点
 - スピード
 - 柔軟性
 - 地球規模
- ・制約となる点
 - ブラックボックス化されたサービス
 - サポートOSの制限
 - 可用性（障害時と保守時）
 - 監視と通知
 - ネットワーク速度と遅延

第2部 クラウド移行計画を作る

- ・通常の移行計画、プロジェクト管理との違い
- ・ボーディング計画
- ・構築計画
- ・移行計画
- ・テスト計画
- ・サービスイン・クライテリア
- ・リスク管理
- ・セキュリティ管理

第3部 クラウド運用計画を作る

- ・ 通常の運用計画との違い
- ・ インシデント管理
- ・ 問題管理
- ・ キャパシティ管理
- ・ ライフサイクル管理

第4部 移行計画書、運用計画書のサンプルの解説